

## 報告事項

### 1. 平成 23 年度人事・事業実施報告（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

#### （1）会員数（平成 24 年 2 月 29 日現在）

	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 2 月 29 日
会員	4,664 名 (正会員名 4,380 団体 284)	4,788 名 (正会員 4,501 名 287 団体)
賛助会員	12 社	12 社

\* 滞納者 121 名を定款に基づき退会とした。（平成 23 年 5 月 31 日）

- 1) 平成 23 年度新入会員数（団体・賛助除く） 420 名

<職種別新入会者明細>

医師 97 名、歯科医師 17 名、保健師 27 名、助産師 10 名、看護師 91 名、栄養士 7 名、養護教諭 1 名、保育士 10 名、教職・研究職 109 名、その他 50 名不明 1

- 2) 平成 23 年度退会会員数（団体・賛助除く） 439 名

<職種別退会者明細>

医師 142 名、歯科医師 13 名、保健師 24 名、助産師 8 名、看護師 73 名、栄養士 6 名、養護教諭 4 名、保育士 11 名、教職・研究職 63 名、その他 35 名、不明 60 名

#### 参考

<職種別会員>

医師名 1,839、歯科医師 130 名、保健師 183 名、助産師 85 名、看護師 461 名、栄養士 50 名、養護教諭 17 名、保育士 45 名、教職・研究職 877 名、その他 234 名、不明 580 名 合計 4,501 名

#### （2）人事について

##### 1) 訃報

- 高野 陽(カノ アキラ) 氏 名誉会員 平成 23 年 10 月 20 日 享年 73 歳
- 笠置 綱清(カガヤ ツネヨ) 氏 前鳥取県会長、元理事 平成 23 年 10 月 30 日 享年 73 歳
- 鴨下 重彦(カモシタ シゲヒコ) 氏 名誉会員 平成 23 年 11 月 10 日 享年 77 歳

##### 2) 平成 23 年度名誉会長の推薦

前川 喜平 氏 (マエカリ キヘイ)

##### 3) 平成 23 年度名誉会員の推薦

福島県 鈴木 仁 氏 (スズキ ヒトシ)  
栃木県 布川 武男 氏 (ヌカワ タケオ)

埼玉県 佐々木 望 氏 (ササキ ノゾム)  
 東京都 山口 規容子 氏 (ヤマグチ キヨコ)  
 鹿児島県 錚之原 昌 氏 (ホコノハラ マサシ)

#### 4) 地方協会長交代

(地方協会)	(旧)	(新)
東京都	庄司 順一(ショウジ ジュンイチ)	→ 横井 茂夫 (ヨコイ シゲオ) (代行)
山梨県	田中 均 (タカヒトシ)	→ 山縣 然太朗 (ヤマガタ センタロウ)
宮崎県	布井 博幸 (ヌイヒロユキ)	→ 高木 純一 (タキ ジュンイチ)
福井県	眞弓 光文 (マユミ ミツミ)	→ 重松 陽介 (シゲマツ ヨウスケ)
広島県	岡崎 富男 (オカザキ トモオ)	→ 新田 康郎 (ニツタ ヤスロウ)
京都府	中畑 龍俊 (ナカハタ タツシ)	→ 細井 創 (ホソイ ハヅメ) (代行)
新潟県	内山 聖 (ウチヤマ マコト)	→ 斎藤 昭彦 (サイタウ アキヒコ)

(敬称略)

#### (3) 平成 23 年度総会

##### 1) 第 1 回総会

平成 23 年 6 月 19 日 (日)、ベルサール九段 (東京) において、社員総数 221 名 (理事 27 名、代議員 194 名) 出席者数 35 名、委任状 148 通であり総会は成立した。議長に関口 進一郎氏を選出し、議事録署名人に加藤 則子 (埼玉県)、並木 由美江 (埼玉県) 両氏を指名し開会した。

下記の議案が承認された。

##### 《報告事項》

1. 平成 22 年度人事・事業実施報告
2. 日本小児保健協会学術集会開催計画
3. その他

##### 《審議事項》

1. 平成 22 年度収支決算 (案) ならびに監査報告
2. 平成 23 年度事業計画 (案)
3. 平成 23 年度収支予算 (案)
4. 新定款(案)承認の件
5. 現行役員任期の件
6. 次期役員改選の件
7. 第 60 回日本小児保健協会学術集会 会頭について
8. その他 (総会次第の件)

##### 2) 第 2 回総会

平成 23 年 9 月 2 日（木）、名古屋国際会議場（名古屋）において、社員総数 221 名（理事 27 名、代議員 194 名）出席者数 52 名に、委任状 105 通を加え社員の過半数に達したことを報告した。議長に大西文子会頭を選任し、議事録署名人に小枝達也（鳥取県）、太田百合子（東京都）両氏を選任し開催した。

下記の議案が承認された。

#### 《報告事項》

1. 平成 23 年度人事・事業実施報告
2. 各委員会活動報告
3. 公益社団法人移行進捗状況
4. その他

#### 《審議事項》

1. 平成 23 年度修正予算(案)
2. 定款等の改定について
3. 特定資産の取崩し積替えの件
4. 平成 23 年度名誉会長の推薦
5. 平成 23 年度名誉会員の推薦
6. 協会活動助成について
7. その他

### 3) 臨時総会

平成 23 年 12 月 10 日（土）、東医健保会館（東京）において、衛藤会長が、平成 23 年度臨時総会の開催を宣し、定款第 30 条に基づき総会議長として荒川浩一氏を選任した。社員現在数 221 名うち出席 29 名、委任状 172 通、定款 32 条の規定により本総会は成立了。定款第 34 条に従い、議事録署名人 2 名、石川県の伊川あけみ氏及び埼玉県の並木由美江氏が選出された。

下記の議案が承認された。

#### 《報告事項》

1. 公益社団法人移行申請状況進捗
2. その他

#### 《審議事項》

1. 平成 23 年度代議員選任
2. 平成 23 年度理事選任
3. 平成 23 年度監事選任
4. 平成 23 年度執行役員選任

### （4）役員会等の開催

理事会3回、常任理事会4回、編集委員会6回、予防接種・感染症委員会1回、栄養委員会2回、発育委員会1回、平成22年度乳幼児身体発育調査小委員会1回、小児救急の社会的サポートに関する委員会5回、学校保健委員会3回、平成22年度幼児健康度調査委員会3回を開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

#### (5) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会5回（日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催）
- 2) 合同委員会
  - ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会3回
  - ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会3回
  - ・発達障害への対応委員会3回
  - ・第6回子どもの食育を考えるフォーラム1回

#### (6) 外部団体委員派遣

- ・予防接種推進専門協議会（全体委員会）1回
- ・予防接種推進専門協議会（代表者会議）5回

#### (7) 日本小児保健協会学術集会の開催

- 1) 第58回（平成23年）日本小児保健協会学術集会  
会頭：大西 文子 教授（日本赤十字豊田看護大学看護学部小児看護学）  
日程：平成23年9月1日（木）2日（金）3日（土）  
会場：名古屋国際会議場  
テーマ：「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること！」  
＊参加者数1,121人

#### (8) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」71巻2号まで発刊した。
- ・70巻記念号を発行した。

#### (9) 講演会等の開催

- 1) 支部研修会開催助成
  - ・「第28回兵庫県小児保健協会総会・シンポジウム」兵庫県
  - ・「平成23年度栃木県小児保健研修会」栃木県
  - ・「埼玉県小児保健協会第75回研究会」埼玉県
  - ・「第50回 岩手県小児保健学会」岩手県

- ・「第 14 回奈良県小児保健学会」 奈良県
- ・「平成 23 年度神奈川県母子保健指導者研修会」 神奈川県
- ・「平成 23 年度 愛知県小児保健協会学術研修会」 愛知県

2) DENVER II - デンバー発達判定法 - 判定技術養成講習会を 2 回開催した。

- ・平成 23 年 5 月 28 日 (土) 和光堂株式会社(東京) 参加者 43 名
- ・平成 23 年 9 月 1 日 (木) 名古屋国際会議場(愛知) 参加者 58 名

#### (10) 小児保健セミナーの開催

1) 第 28 回小児保健セミナー「小児保健と関連領域」を、平成 23 年 6 月 19 日 (日) に ベルサール九段に於いて開催し、参加者数は 111 名であった。

#### (11) 市民公開セミナーの開催

1) 第 2 回市民公開セミナー「自閉症をめぐって：幼児期の対応を中心に」を、平成 23 年 10 月 1 日 (土) にラフレシアいたまに於いて開催し、参加者数は 213 名であった。

#### (12) 小児救急電話相談スキルアップ研修会の開催

1) 基礎コース \* 参加者 97 名

日時：平成 23 年 9 月 1 日 (木)

会場：名古屋国際会議場 (愛知県)

2) 実践コース \* 参加者 28 名

日時：平成 23 年 11 月 23~24 日 (水・木)

会場：ワインクあいち (愛知県)

#### (13) 協会活動

1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、栄養委員会、発育委員会、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

#### 2) 地方協会活動

全国 47 地方協会は、総会・研修会の開催、機関誌の発行等を行った。

(平成 23 年度地方協会活動報告は、小児保健研究第 71 巻 4 号に掲載予定)

#### 3) 協会活動助成について

《研究助成》

○佐々木 瞳(サキ ヒトミ)氏・他 (福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

「一地方都市における乳児を持つ父親の育児の自信」

～第一報：自信が低い頻度と育児状況の関連～

～第二報：自信を低くするリスク要因の検討～

○清水 佐知子(シミズ ザチコ)氏・他 (大阪大学大学院医学系研究科数理保健学教室)

「日本版幼児睡眠質問票の開発」

#### 《実践活動助成》

○森内 浩幸 (モリナカ ヒロシ) 氏・他 (ダウン症候群フォーラム実行委員会)

「ダウン症候群トータル医療ケア・フォーラム」

#### (14) 公益社団法人移行進捗報告

#### (15) 東日本大震災に対する活動

##### 震災直後の対応

- 1) 被災地への支援物資輸送経路が確立していない3月中旬に、東京都の関係機関の協力を得て、レトルトベビーフード2,400食を送付した。
- 2) 日本赤十字社を通じて、義援金を拠出(100,000円)
- 3) 小児保健の立場から、「災害時乳児栄養情報」をHPに掲載 (栄養委員会)
- 4) 被災者への支援物資提供を各地方協会・役員・委員に要請した。
- 5) HPへお見舞い記事掲載

##### 委員会・フォーラム等

- 1) 「緊急フォーラム －この大災害に小児科医はどう立ち向かうか」

日時：平成23年4月17日（日）13時～

場所：東京大学鉄門記念講堂

主催：日本小児科連絡協議会

- 2) 震災対応合同委員会

第1回　　日時：平成23年4月8日（金）18時～

場所：日本小児科学会

第2回　　日時：平成23年6月15日（水）19時～

場所：日本小児科学会

- 3) 「東日本大震災フォーラム：

被災地における子どもの成長発達を長期的に見守るために」

日時：平成 23 年 9 月 2 日（金）

場所：名古屋国際会議場（学術集会時 愛知にて）

4) 第 2 回東日本大震災中央子ども支援センター協議会

日時：平成 24 年 3 月 6 日（火）

場所：日本子ども家庭総合研究所（東京）